

報道関係者各位

**コントラクト MR など CSO 事業部門のおよそ全社員となる 1,500 人超に
医師、薬剤師、看護師等の医療者に対するディテリングに特化した
リモートディテリングのプラットフォームを一斉導入**

**“リモートツール”と“ツールの導入や運用のノウハウを持つ人材”を統合した
「ハイブリッド型 リモートディテリング ソリューション」
の国内本格展開に向けて CSO 事業部門を変革**

IQVIA ジャパン グループ（東京都港区：会長 湊方彦）は、CSO 事業部門の全社員 1,500 人超に対し、「IQVIA Remote Detailing」を一斉導入することを 5 月 21 日に発表しました。

この「IQVIA Remote Detailing」は、IQVIA グループが開発したリモートディテリングのプラットフォームとして世界 46 カ国で 20 年以上の運用実績を有し、IQVIA ジャパン グループでは、CSO 事業部門に所属するコントラクト MR および MSL、クリニカルエデュケーター^{*1}などのフィールドでの活動を担うおよそ全ての社員が、お取引先様での医薬情報活動において、このプラットフォームを標準的に活用できるようになることを目指します。

またこれにより、IQVIA ジャパングループでは、本プラットフォームのディテリング現場での推進にあたり、これまで CSO 事業で培ってきたディテリング現場の経験や知見に基づくノウハウを備えた人材が、このプラットフォームの導入や運用を進めるといった“リモートツール”と“人材”を統合した「**ハイブリッド型 リモートディテリング ソリューション**」をご提供していきます。

新型コロナウイルスの感染拡大が国内でも深刻化を続ける中において、MR 等による医薬情報の提供・収集・伝達活動にも影響が広がっており、医薬情報の滞りによる医療アウトカムへの影響を最小限に抑えるためにも改めてリモートディテリング推進の機運が高まっています。

一方、国内製薬各社では、かねてより医療用医薬品市場の成長鈍化や、5G など IT 環境の飛躍的な進展等を背景として、営業マーケティングの効率化や生産性向上、働き方改革への対策としてリモートディテリングの導入が始まっていますが、医薬情報という機密情報に対応したセキュリティの確保や導入現場における新しい手法への心理的抵抗感、さらにデジタルリテラシーや遠隔コミュニケーションなど従来活動に加えてのスキルの獲得等、製薬企業側、医療者側の双方にハードルがあり、今後の効果的な活用に向けては、それら課題の解決と同時に活用そのものの更なる加速が必要です。

そこで、IQVIA ジャパン グループでは“リモートのツール”と“ノウハウを持つ人材”を統合する「**ハイブリッド型 リモートディテリング ソリューション**」について、全 CSO 事業の社員をもってのご提供体制を整えます。これにより、お取引先様のリモートディテリングの導入にあたっての課題の解決や効果的な運用を進め、医薬情報活動の継続をご支援してまいります。

IQVIA はグローバル規模で CSO 事業においても、当社が持つ「専門性」、世界規模の「データ」、最新の「テクノロジー」、高度な「分析力」から成る総合力^{*3}を原動力とし、従来のコントラクト MR サービスの枠組みを超えたソリューションのご提供を強力に推進しており、今般の新型コロナウイルスのような有事に

あっても、日々の医療に資する医薬情報活動を安全に継続できる仕組みづくりをご支援するとともに、より効率的・効果的なデジタルの活用により、新たなコマースモデルの構築、生産性革新や働き方改革にも貢献していきます。

「IQVIA Remote Detailing」とCSO 事業部門 1,500 人超への導入にあたっての取り組みの詳細は以下をご覧ください。

*1 クリニカルエデュケーターとは看護師や薬剤師等の有資格者で、医師のほか看護師や薬剤師等に対し Peer to peer で疾患や診療手技、アドヒアランスサポート等に関するエデュケーションを通じ、治療アウトカム向上を推進する

*2 この総合力を IQVIA では「IQVIA CORE」と称しています。詳しくは当社ウェブサイト (<https://www.iqvia.com/ja-jp/locations/japan/solutions-and-services>) をご覧ください

■ 「IQVIA Remote Detailing」の概要（操作画面は別添参考資料参照）

医師、薬剤師、看護師等の医療者に対するディテリングに特化したリモートプラットフォームとして、IQVIA グループの旧カドリッジ社が開発、20 年にわたり米国・英国をはじめ世界 46 カ国で 250 以上のハイブリッド型プロジェクトにおける運用実績を有し、20 以上の疾患領域で広く活用されています（2018 年時点）。

機能と特徴：

- **端末(PC・タブレット・スマートフォン)による制約や事前準備の必要がありません。医療者は、端末の種類を一切気にすることなく、すぐにオンラインによる面談が可能です**
 - 事前に専用プログラムをインストールする必要もなく、インターネットと Web ブラウザだけで、すぐにオンライン面談を始めることができます
 - 使用する端末に搭載されているオーディオデバイス（マイク・スピーカー）を使って音声(VoIP)を、カメラを使って映像(Webcam)のやりとりができます
- **現行のシステムに依存なく活用できます**
 - CRM をはじめとする活用中のシステムによらず、独立したものとして使用いただけます
- **安心してディテリングできる高度なセキュリティ技術と機能を備えています**
 - ハッキングやウイルス感染、個人情報流出など各種リスクへの対応など、安全性を担保する環境下で使用いただけます。また、システムエラーや通信障害が少なく堅牢な動作環境です
 - コンテンツは管理者により承認が行われ、サーバにアップロードされたもののみを選択し、参加者（医療者）と共有します。そのため誤ってバージョンの古いコンテンツを使用したり、デスクトップ画面が見えてしまうなどのリスクはありません
- **インタラクション機能でリモートの活用を促進します**
 - オンラインによる詳細説明のみならず、医療者自ら、アンケートの回答や資料のダウンロードができ、円滑なコミュニケーションを継続できます
 - 画面上でポインターを共有することによって、スムーズなコミュニケーションをサポートします
- **ログ記録機能や承認済みコンテンツへの利用制限など、販売情報提供ガイドラインなどコンプライアンス対策に対応しています**
 - 面談内容は結果ログとしてエクセル形式で出力することができます。いつ、誰が、誰に、何の資料を使ったかなどの情報を記録として残すことが可能です
 - 予め用意された承認済み資料以外にも、柔軟に資料等の追加・利用ができますが、すべての面談結果はログとして安全に記録されます

お問い合わせ先 IQVIA ジャパングループ 広報 03-6894-5420 JP.coms@iqvia.com

■“リモートツール”と“人材”を統合した「ハイブリッド型 リモートディテリング ソリューション」に向けた取り組みについて

CSO 事業部門に所属するコントラクト MR および MSL、クリニカルエデュケーターなどのフィールドでの活動を担うおよそ全ての社員が、お取引先様での医薬情報活動において、このプラットフォームを標準的に活用できるようになることを目指します。

これに向けて、当社ではトレーニングをはじめとする以下の施策を推進しています。

CSO 事業部門全社員を対象とするトレーニングコースの設置：

IQVIA の CSO 事業部門が独自の教育体系として有する、MR の付加価値を高めた次世代ヘルスケア人材の育成を目指す「IQVIA Campus」という教育システム（別添）に、デジタル人材専門コースを新たに設置します。

同コースでは、IQVIA でデータ・テクノロジーのトレーニングを専門とする社員などを講師に、国内外のプロジェクトで集積した“リモートディテリング活用の落とし穴とその対策”など、より効果的な導入や運用にあたってのノウハウの共有にも主眼を置いて展開しています。

本格導入に向けて：

IQVIA 社内での会議や面談、採用活動など、自社での活用も通じてより多くのノウハウを拡充し、国内製薬企業に対して、リモートディテリングを標準装備した MR チームや、支店・営業所など現場ベースでのリモート推進支援に特化したフィールドトレーナー等の、人材とテクノロジーを融合したハイブリッド型ソリューションの提供を本格展開していきます。

###

IQVIA について

IQVIA (NYSE:IQV) は、先進的かつ高度な分析力と機能、革新的テクノロジー、および臨床試験、コマースサービスをライフサイエンス業界の皆さまへ提供する世界的なリーディング企業です。IMS Health と Quintiles の統合により誕生した IQVIA は、ヒューマン・データ・サイエンス（分析の精緻さとデータサイエンスの明晰さを、拡大し続けるヒューマンサイエンスの領域に対し活用すること）を用いることにより、ヘルスケア企業の皆さまが臨床開発とコマース領域におけるこれまで無いアプローチを、新たなイマジネーションの下で発展させ、イノベーションを速め、ヘルスケア・アウトカムの改善をより一層加速させることを支援します。私たちの原動力である「IQVIA CORE™」によって、IQVIA は実務実行力を伴いながら、大規模な分析、革新的なテクノロジー、そしてスペシャリストによる幅広い専門知識、これらが交差する地点に、実用的且つ唯一無二のインサイトを提供しています。私たち IQVIA は、現在 6 万 7,000 人が、世界 100 以上の国と地域で活動しています。

IQVIA は、患者の皆さまの個人情報保護の分野においても、世界をリードしています。医療関係者の皆さまが、疾患のパターンを特定し、より良いアウトカムの実現のために必要である明確な治療方針や治療法の関連づけに資する規模での情報を収集・分析すると同時に、様々なプライバシー保護のための技術や安全対策に取り組んでおります。IQVIA が持つインサイトや実務の実行力は、治療・治療の実現に向かい尽力するバイオテクノロジー企業、医療機器メーカー、製薬企業、医学研究機関、政府機関、保険者やその他様々な医療関係者の皆さまによる疾患そのものや人間の行動、サイエンスの進歩に対する更なる理解の深耕を支援します。IQVIA の詳しい情報はこちら (www.IQVIA.com) をご覧ください。日本向けの URL はこちら (www.iqvია.co.jp)

お問い合わせ先 IQVIA ジャパングループ 広報 03-6894-5420 JP.coms@iqvia.com

<ご参考資料>

1. リモートディテリングプラットフォーム「IQVIA Remote Detailing」操作画面
2. IQVIA Campus：個と組織が共に成長する学びの場
3. リモートディテリングに関する IQVIA グローバル調査レポート「THE POWER OF REMOTE PERSONAL INTERACITONS」

1.リモートディテリングプラットフォーム「IQVIA Remote Detailing」操作画面



2.IQVIA Campus：個と組織が共に成長する学びの場

多様な専門性を体系化して育成・実践・ナレッジ化を連動し、次世代人材の育成を加速

	知識	個別スキル	メソドロジー	テクノロジー	
実践増幅 ワークショップ	Image	<ul style="list-style-type: none"> ・社内ワーキングチーム等へのアサイン・実践 ・顧客プロジェクトへのアサイン・実践 ・事例にもとづく成功・失敗要因分析、インサイト抽出、ナレッジの横展開 			
応用 オンライン研修	<ul style="list-style-type: none"> 担当領域最新情報(学会、論文等) 医学・薬学・生物学(臨床) 	<ul style="list-style-type: none"> 企業活動(会計・財務) 企業活動(経営・組織論) 企業活動(ビジネスプロセス) 	<ul style="list-style-type: none"> コーチング ファシリテーション ネゴシエーション 課題解決 リーダーシップ 	<ul style="list-style-type: none"> チェンジマネジメント メディカル戦略立案 製品戦略立案 人材・組織開発 コンサルティング 	<ul style="list-style-type: none"> ナレッジマネジメント データマイニング(仮説発見)
基礎 E-ラーニング	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発動向 主要領域動向 担当領域動向 医学・薬学・生物学(基本) 	<ul style="list-style-type: none"> 制度(介護報酬) 制度(調剤報酬) 制度(診療報酬) 医薬品・ヘルスケア業界動向 	<ul style="list-style-type: none"> セリングスキル プレゼンテーション コミュニケーション ロジカルシンキング 発想・想像力 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトマネジメント ビジネスプラン作成 営業/エリア戦略立案 マーケティング 市場把握・評価 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客データ・テクノロジーの活用 自社データ・テクノロジーの活用 オープンデータ・テクノロジーの活用 データ分析(仮説検証)
マンスリー News	ホットピックスのアップデート、コンプライアンス等				
ライブラリー	約50の主要疾患領域の基本知識				

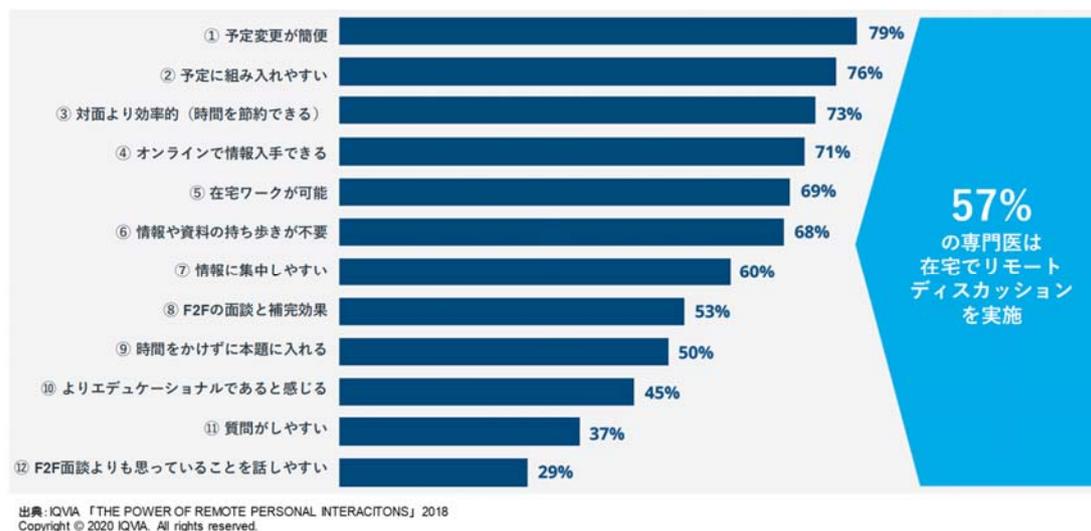
Copyright © 2020 IQVIA. All rights reserved.

お問い合わせ先 IQVIA ジャングループ 広報 03-6894-5420 JP.coms@iqvia.com

3. リモートディテリングに関する IQVIA グローバル調査レポート 「THE POWER OF REMOTE PERSONAL INTERACITONS」

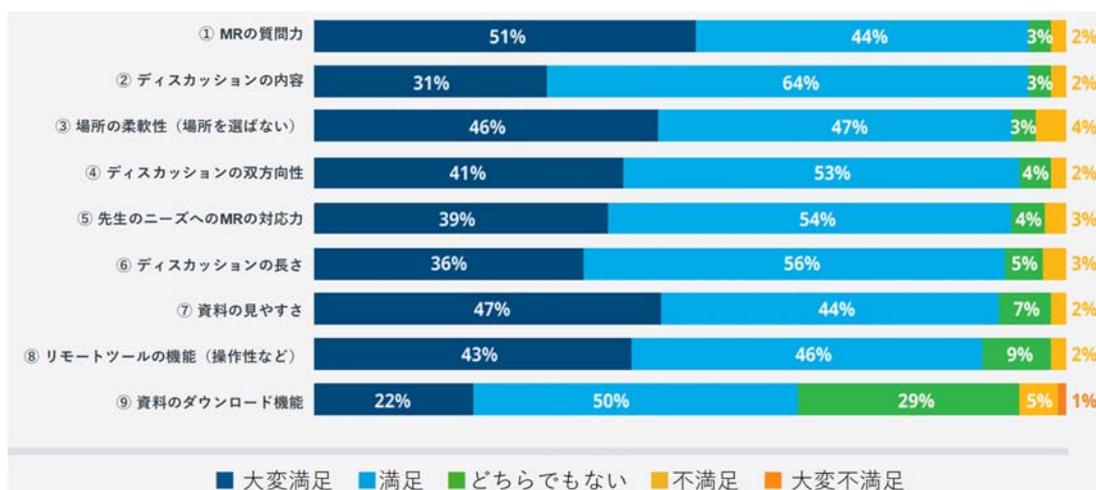
日本に先行してリモートディテリングが導入・活用されている欧米では、リモートディテリングに対する医療者の肯定的な評価やニーズが明らかとなっています（2018年）

- 調査概要
 - リモートコミュニケーションに関するプライマリケア医、専門医、看護師 101 名を対象とした調査（2017年実施）
 - リモートディテリングのメリットとして「予定変更が簡便」、「予定に組み込みやすい」、「対面より効率的」、「オンラインで情報入手できる」について 70%以上が評価
 - 医師の 79%が「処方増加に影響があった」、専門医では 73%が「処方増に大いに影響があった」と回答
 - 約 4 分の 3 がリモートによるアプローチはプロモーション・コンタクトの未来であると感じており、医師の半数以上、看護師の 83%が「対面とオンラインの両方の選択肢があること」を希望
- リモートディテリングのメリット
「予定変更が簡便」、「予定に組み入れやすい」、「対面より効率的」、「オンラインで情報入手できる」について 70%以上が評価



- リモートディテリングに対する満足度

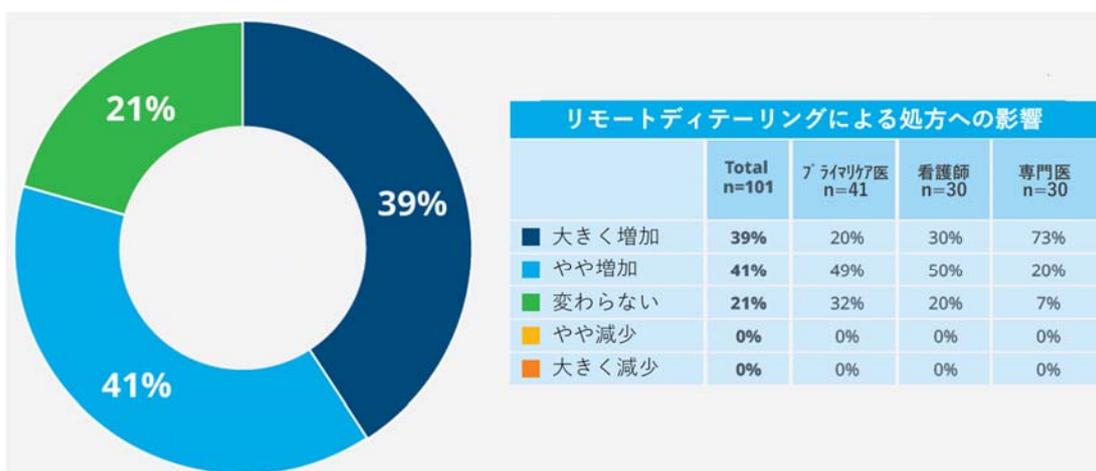
すべての項目の満足度が7割超。担当者への質疑応答（51%）、視覚的に提供を受けられる（47%）、実施場所の柔軟性（46%）で非常に満足度が高い



出典: IQVIA 「THE POWER OF REMOTE PERSONAL INTERACITONS」 2018
Copyright © 2020 IQVIA. All rights reserved.

● リモートディテリングによる処方への影響

全体の約8割が「処方が増加」、専門医の73%が「処方が大きく増加」と回答(「やや増加」を加えると9割超)



出典: IQVIA 「THE POWER OF REMOTE PERSONAL INTERACITONS」 2018
Copyright © 2020 IQVIA. All rights reserved.

レポートの全文「THE POWER OF REMOTE PERSONAL INTERACITONS」はこちらから無料でダウンロードいただけます。

<https://www.iqvia.com/ja-jp/library/white-papers/the-power-of-remote-personal-interactions>

お問い合わせ先 IQVIA ジャパングループ 広報 03-6894-5420 JP.coms@iqvia.com